

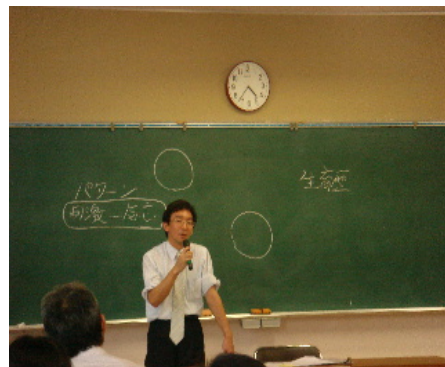
# 手をつなごう

平成18年7月18日

岡山県立東備養護学校  
支援部だよりNO. 9

## 備前地域特別支援教育 コーディネーター研修開催！ 7月12日（水）

専門性の向上を図るとともに、コーディネーター間の連携を図ることを目的に、今年度初めて計画した研修講座です。特別支援教育を進めていく上で、我々も含めたコーディネーターの力量を高めることが必要であると思い計画しました。どのくらいの方が来てくださるか、見当もつきませんでしたが、各校に要項をお送りしました。その結果、遠くは建部町、吉備中央町、玉野市から、また近隣の赤磐市、備前市、瀬戸内市、瀬戸町...と、31名の方が参加申し込みをしてくださいました。



第1回目の講師は岡山市立石井小学校で通級指導教室を担当しておられる、青山新吾先生にお願いしました。青山先生は通級指導17年のベテランで、数々の教育誌への執筆だけでなく「自閉症の子どもへのコミュニケーション指導（明治図書）」も出版されています。また、学校心理士、臨床発達心理士としても御活躍です。今回は「小中学校における軽度発達障害児への対応とコーディネーターの役割について」約1時間、豊富な実践経験から、具体的でわかりやすいお話をしていただきました。目から鱗が何度も落ちていた間にあっという間に時間が過ぎてしまった感じでした。

お話の後は地域ごとのグループに分かれて、自己紹介、情報交換をしました。もっと時間が欲しい！というのが実感でした。

## アンケートから

- ・大変充実していた。もっと青山先生のお話を聞きたい。青山先生のご指導によるケース会演習をしたい。分科会では問題点が見えてきた。
- ・例を挙げながらの話でよかった。時間が足りなかった感あり。もっと続きが知りたかった。
- ・青山先生のお話は昨年まで私が担当していた「生徒指導」の「問題児」への対応とピタッとはまり自分の経験の中で学級経営などに苦しむ時もあったが、間違っただけではなかったんだと思えた。そして特別支援教育としてはそこに自閉症やADHDという言葉や状況が加わると考えればいいのかと自分の中で理解できた。分科会では中学校の現場の話で共通理解でき安心した。
- ・とても具体的で実際の場面が目につくようなお話で、その中で大切な視点や方法が経験に裏打ちされた力でとても納得させられた。日々の授業に役立ちそう。学級経営の大切さとそのポイントは肝に銘じ、他の人に伝えたい。
- ・具体例で、しかも個によって様々であることがとても分かりやすかった。目の前の子供をよく見つめていこうと思う。